



DSO参加機関のイベントのご案内

◆農業環境技術研究所

海外ロールモデル講演会(第3回)

農環研では、海外ロールモデル講演会(第3回)を開催いたします。今回は、アメリカの女性研究者をお招きし、自身の生活スタイルや仕事のことなどについてお話いただく予定です。皆様どうぞご参加ください。

この招聘は、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成 双方向キャリア形成プログラム農環研モデル」事業の一環で行っています。

【日時】2011年8月5日(金)10:00-11:00

【場所】農環研・本館5階 547会議室

【タイトル】“USDA Women Scientists: Employee and Organizational Benefits of the ARS Workforce Plan”

(アメリカ農務省の女性研究者; 農業研究サービス(ARS) 人員計画における被雇用者と組織の利益)

【概要】USDA-ARS is the chief scientific research agency of USDA;

approximately 2,500 scientists are conducting 1,000 research projects under 20 National Programs at 100 locations; 42% of 8,500 total ARS workforce (2008) is women. This presentation will summarize personal experiences my colleagues and I have as female scientists in ARS, including various employee benefit and long-term development programs (e.g., leave, flexible work schedule, promotion/performance appraisal) that I believe allow female scientists to excel in the ever-changing workforce/place.

【講演者】Dr. Sophie M. Uchimiya

United States Department of Agriculture – Agricultural Research Service (USDA-ARS)

【参加方法】事前登録は不要です。所外の方は、正面玄関1階で受付をしておいでください。建物近くのお客用駐車場には限りがあります。空きのある駐車場は建物から距離がありますので、お時間に余裕を持ってお出かけください(地図をご参照ください)。

【ウェブサイト】

http://www.niaes.affrc.go.jp/project/niaes_model/news.html#n005



図. 農環研の広い駐車場と正面玄関への道すじ

イベント報告

◆産業技術総合研究所「介護に関する勉強会」報告

7月15日(金) 産総研つくばセンターにて介護に関する勉強会が開催され、「認知症と遠距離介護～テレビ電話で母をみる」という題名で、長坂寿俊氏にご講演頂きました。長坂氏は、(独)森林総合研究所の研究者であるとともに、介護公益社団法人「認知症の人と家族の会」茨城県支部世話人、またキャラバン・メイト(茨城県認知症介護アドバイザー)もなされている方です。



講演は、前半に認知症に関する基礎知識、後半はつくばと京都の遠距離介護についてお話頂きました。認知症については、特徴的な症状のほか、治療薬の最新情報や専門医療機関へのスムーズな受診のコツなどをお話頂きました。そして、ご自身の勤務地であるつくばと、お母様が一人暮らしされる京都との遠距離介護のご経験談として、まず症状の現れから各所への相談に始まり、介護認定、つくばと京都の往復、テレビ電話での見守り、そしてつくばのグループホームへの入居、といった様々な出来事を順を追って、また各種制度の説明・注意点なども織り込みながら、具体的で幅広い内容をお話し頂きました。

参加者からは、実体験にもとづく内容に共感を持って頂けたようで「気負わない介護と言う話を聞いて気が楽になった」「遠距離でも介護が出来るというのは驚きでした」「多くの制度を利用し人手を借りれば安心であることを知りました」などといった感想が寄せられました。

本講演はテレビ会議により全国の産総研拠点に配信され、つくば会場と合わせ計139名(DSO参加機関からは4機関8名)の方にご参加頂きました。(長坂氏は森林総合研究所においても2011年3月4日に講演をされました)





シリーズ: DSO参加機関のご紹介 ①

DSO参加機関同士の理解を深めるため、各機関の紹介と最近の取り組みについて順次ご紹介いたします。
第1回はDSO事務局である産総研よりお届けします。

*** 独立行政法人産業技術総合研究所 ***

【機関概要】産業技術総合研究所(AIST: National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)は、環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信・エレクトロニクス、ナノテクノロジー・材料・製造、標準・計測、地質という多様な6分野の研究を行う研究機関です。本部を東京とつくばに置き、全国に地域センター(北海道、東北、つくば、臨海副都心、中部、関西、中国、四国、九州)を配置しています。職員数は、研究職員2,337名、事務職員683名で合計3,020(2011年4月1日現在)です。



【ダイバーシティへの取組】2006年2月「男女共同参画宣言」において産総研としての取組を宣言し、同年4月に男女共同参画室を設置、また2009年9月にはつくば6研究教育機関の連名のもと男女共同参画宣言を発表しました。現在「多様な属性(性別、年齢、国籍等)がもたらす価値・発想の多様性活用(ダイバーシティ)」を定めた「男女共同参画の推進策」にもとづき様々な取組を進めています。



【本所所在地】東京都千代田区霞が関一丁目3番1号
(男女共同参画室所在つくば本部:茨城県つくば市梅園1-1-1)
【ウェブサイト】
<http://unit.aist.go.jp/gender/ci/>



まず育児・介護支援として、各種休暇休業制度などの環境整備、育児介護情報の提供や共有を行う場の維持管理、一時預かり保育施設を2001年につくばに開設(中部・関西など現在3箇所)、「介護に関する勉強会」や女性研究者のキャリア支援として「ロールモデルとの懇談会」の開催、職場のことや心理的な問題に対応するキャリアカウンセリングなどを行っています。また、科学技術振興調整費 産総研課題「女性研究者グローバルエンカレッジング」(H17~H19年度)の実施にともない、2007年9月産総研はコンソーシアムDSOを設立しました。

今後も、DSO参加機関の皆様と連携し、日本の研究機関のダイバーシティ推進を積極的に行って参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。



ダイバーシティ・サポート・オフィスのご案内

男女共同参画の取り組みを進めている公的研究教育機関14機関では、ダイバーシティ・サポート・オフィス(DSO)を組織し、ワークライフバランス支援や意欲触発支援のノウハウを蓄積・発信・共有しております。「DSO参加機関のイベントのご案内」のようなイベント相互参加もそのひとつです。DSO活動についてのお問い合わせは事務局までお気軽にどうぞ。

*DSOメンバー(参加順):(独)産業技術総合研究所、(独)森林総合研究所、(独)物質・材料研究機構、(独)農業環境技術研究所、国立大学法人千葉大学、国立大学法人筑波大学、国立大学法人神戸大学、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、(独)土木研究所、(独)国立環境研究所、(独)国際農林水産業研究センター、(独)農業生物資源研究所、(独)防災科学技術研究所、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構

編集後記

所内健康支援セミナー「地震・放射線の不安、ストレスとうまく付き合い続けるー職場のリスク管理、個人のストレス管理ー」へ参加してきました。ストレスが心と体に及ぼす影響を具体的に知ることができました。

不安やストレスの感じ方は「人によって異なる×状況によって異なる」ことから、『状況』として考えられる地震の不安に加え、暑さや体調などの影響が重ならないよう気をつけようと思いました。家庭でも熱中症を予防しつつ、節電はエアコンだけでなくテレビ・電子レンジ・IHクッキングヒーターなど日常全般で見直しているところです。

「『今、自分は大丈夫』は、『明日も自分は大丈夫』を意味しない」ことを肝に銘じ、身近な人と「『ドアはいつも開いている』からね」という姿勢で声をかけあい、お互いさまのソーシャル・サポート(物質的支援でなく、人間関係によりもたらされる援助)を作って、ストレスを軽減してゆきたいです。

□ ご意見や掲載希望記事・企画がありましたら、遠慮なくDSO事務局までご連絡ください □